

東北学院宗教センター便り

Vol.

4

2022年9月第4号

東北学院宗教センター発行



いのち ひかり あい



Contents

- ★東北学院幼稚園 …… 2
- ★東北学院中学校・高等学校 …… 3
- ★東北学院榴ヶ岡高等学校 …… 4
- ★東北学院大学 …… 5
- ★ランカスター神学校と東北学院 …… 6
- ★所長メッセージ …… 8
- ★秋冬の主な宗教行事 …… 8

幼稚園

4月

イースター礼拝

4月15日(金)



年少さんは神さまに初めて出会います。お祈りや讃美歌は、先生や年長さんの真似をして、毎日の礼拝で少しずつ覚えてきました。最近では讃美歌を遊びのときに口ずさんでいたり、「お休みのお友だちのために祈りしよう。」と子ども達から声がかかるようになりました。

今年度初めての合同礼拝。4月に入園したばかりの年少さんも、センターチャプレンのお話をしっかり聞いていました。

年少組担当
渡辺 春菜

6月

花の日礼拝

6月3日(金)



年少さん、年中さんが大学の多賀城キャンパスに花束を届けました。朝から雨でしたが、一瞬の晴れ間に訪問でき、神様に守られた嬉しい1日でした。

年長さんは6月10日(金)に土樋キャンパスを訪問。理事長先生、院長先生に花束を届けました。礼拝堂を見学し、ここは大学生のお姉さん、お兄さんが礼拝する場所だよ、と説明を聞き、パイプオルガンの演奏も聴きました。

合同礼拝の後、宗教センターチャプレンに投げかけられた子どもたちからのすなおでまっすぐな質問に答えました。



Q 神さまとイエス様は2人だけなのに、なぜ世界中の人の世話をすることができるの？

わたしたちは粘土でお皿やコップをいくつも作ることが出来るように、神様もわたしたち一人一人を造って下さいました。ですから、わたしたちが生きているということは、神様が一人一人を大切にしてくださっているのです。



Q 人間は死んだらどうなるの？



わたしたち人間は、神様によって土から造られ命を与えられ、死んだら土にかえります。小さな種が大地にまかれてから、大きく成長するように、わたしたちも種なのです。ですから、わたしたちは、死んだ後に神様から新しい体と命を与えられ、新しい世界で生きることになります。



東北学院中学校・高等学校

毎朝の礼拝



今年度の礼拝は、中1は月曜日、中2、中3は火曜日、高1は水曜日、高2は木曜日、高3は金曜日と曜日ごとに礼拝堂で、それ以外は教室で礼拝をささげています。

共に讃美歌を歌い、聖書の教えに耳を傾け祈る礼拝の時間は、キリスト教精神に基づく人格形成の場として、また、1日を始めの前に心を落ち着かせる時間と空間を共有する場として、日々の学校生活に欠かせない時間です。

特別礼拝

4月

イースター礼拝

4月25日(水)

キリストの復活を祝う日です。毎年変動する祝日ですが、4月第4月曜日に固定して礼拝を捧げます。

5月

ペンテコステ礼拝

5月30日(月)

イースターから50日目に弟子たちに聖霊が下り、教会が誕生したことを祝う日です。



ギデオン協会 聖書贈呈式 6月1日(水)



国際ギデオン協会とは、学校や病院やホテルなどに無償で聖書を配る団体で、1898年にアメリカ合衆国で設立されました。日本本部である日本国際ギデオン協会は日本語の新約聖書あるいは日本語と英語対訳の新約聖書を配布しています。6月1日に中高校で贈呈式が執り行われました。仙台支部の支部長さんが、ウクライナで聖書を配っている時、ロシアのトラックの運転手も聖書を持っていたという話をしてくださりました。

理事長特別補佐
鐸木 道剛

共学化1年目が始まりました！

先生達に印象を聞きました。

特別進学コースの高1クラスのHRに担任の代わりに行きました。ほぼ全員高校からの入学生で、女子の割合が1/3のクラスです。讃美歌を男女一緒に、声を出して歌っている姿に感動しました。

副校長
岩上 敦郎先生

TG 総合進学コースの高1のクラス担任をしています。女子の割合は1/4と少ないですが、とても積極的で、授業も男子校の時より緊張感があり、全体に良い方向に引っ張られている感じがします。

音楽科
鈴木 雅光先生

担当する中学1年生の聖書の授業では、祖父や父親が学院OBという女子生徒もいて、東北学院の歴史という、ともすれば抽象的になってしまう内容も主体的に聞いています。

聖書科
松井 浩樹先生

東北学院榴ヶ岡高等学校

◎ 毎朝の礼拝

入学当初は、聖書を読むこと、讃美歌を歌うこと、祈ることなど全てが初めてのことで戸惑うこともありましたが、礼拝で語られる聖書の言葉を通して自分の心と静かに向き合う時間は、一日を始める上でとても大切な時間になっています。

現在礼拝は教室と礼拝堂に分かれて行っています。1、2年生は礼拝堂に4クラスずつ、3年生は3クラスずつ入り、それ以外のクラスは教室で礼拝を捧げています。



学校が始まって同時に礼拝も始まり、早くも三ヶ月が経って、礼拝にも段々慣れてきました。この前あった初めてのテストの日には、緊張していた心を礼拝で落ち着かせることができ、リラックスしてテストに望むことが出来たこともあって、礼拝はとても必要不可欠な時間だなと感じました。これからも、礼拝に真摯に取り組んで行きたいです。

1年
小澤 琉椅

◎ 特別礼拝

特別礼拝の司会、聖書朗読は生徒が行います。

4月

イースター礼拝

4月27日(水)

イエス様の復活をお祝いするキリスト教の大事な礼拝です。本校では4月最終金曜日に固定し、イースター礼拝を捧げます。

5月

ペンテコステ礼拝

5月27日(月)

教会の誕生をお祝いするキリスト教では大事な礼拝です。教会ではイースターから50日目の日曜日に捧げられますが、本校では5月最終金曜日に固定し、ペンテコステ礼拝を捧げます。



私たちにとって礼拝とは、厳かな場であり、せわしなく続く学校生活の中の安らぎの時間です。このコロナ禍の中、毎回礼拝堂で礼拝を捧げることが叶いません。しかし、大切なのは場所ではなく、どのような姿勢で神様と向き合うかだと私は考えて、礼拝を捧げています。

宗教委員長
島内 珠夏

大学礼拝について



大学で最大の収容人数となる建物空間が各キャンパスにある礼拝堂です。大学ではこのコロナ禍で、1年目は礼拝の録画配信のみ、2年目は録画配信と週に1度月曜日のみを対面で実施するなど、感染の流行の状況に合わせて様式を変えてきました。そして、コロナ禍3年目の本年度は、6月から週に3回(月・水・金)に拡大し、出席者も少しずつ増えてきました。そして9月の後期より講義実施期間中は、感染対策を講じながら毎日対面で開催する予定です。学生の皆さん、奮って参加しましょう！

聖書研究会

宗教部の先生方により、各キャンパスで聖書研究会が開かれています。

4月に着任された椎名雄一郎先生の聖書研究会では、「キリスト教音楽に親しむ」というテーマで毎回聖書と讃美歌にちなんだオルガン曲で、キリスト教と音楽について学んでいます。



その他の先生方の聖書研究会についてはHPの大学宗教部のページに掲載されています。いつでも申し込み可能です。興味のある方は是非参加してみてください。

スプリング・カレッジ

4月

4月16日(土)

本年度の講義期間が始まった最初の土曜日、4月16日に泉キャンパスで、スプリングカレッジが3年ぶりに対面で開催されました。この「スプカレ」はキリスト者等推薦制度を利用して入学が許可された学生たちが今後の活動(大学礼拝や聖書研究会、聖歌隊への参加など)や推薦学生としての心構えを再確認する大切な機会です。一年生にとっては、宗教部の先生たちやキリスト者等推薦の上級生らとの意見交換など、互いに知り合う機会です。



参加生自己紹介



グループ懇談



賛美の時(聖歌隊紹介)

聖歌隊の活動について

聖歌隊は、2022年度入学式と5月の後援会総会前のミニコンサートで、2年半ぶりに対面の合唱発表をすることが出来ました。これからも、東北学院大学の「ど真ん中」で歌う合唱団として活動を続けていきます。

現在は10月の「大学祭」と「宗教音楽の夕べ」での演奏を目指して、引き続き感染対策に気をつけながら練習しています。



今年度は新入生も加わり、3年生を中心とした自主的な練習もできるようになり、皆楽しく歌っています。

これからの練習は、8/31、9/1、9/7の夏期練習(13時~土樋キャンパス音楽室)、そして9月8日以降は毎週木曜日15時から、泉キャンパス礼拝堂または音楽室で定期練習となります。いつでも見学にいらしてください、お待ちしております！

ランカスター神学校と東北学院



東北学院の三校祖
押川方義、ホーイ、シュネーダー



ランカスター神学校のサンテ礼拝堂
1925年改築

【ランカスター神学校の紹介】

ランカスター神学校は、現在米国の「キリスト連合教会」(United Church of Christ)に属していますが、かつては、ドイツ改革派教会(カルヴァン派系)の神学校として1825にペンシルヴァニア州のカーライルに創設されました。

昨年2021年にランカスター神学校は同地区にあるモラヴィア神学校と合同して、モラヴィア大学の大学院となりました。モラヴィア兄弟団は、15世紀のプラハのヤン・フスにまで遡り、現在モラヴィア教会として活動しています。ランカスター神学校は、国内だけではなく国外にも多くの宣教師を派遣してきましたが、これからも包括的で、エキュメニカル(教会合同的)な歩みを続けていきます。

【両校の近況】

本学院とランカスター神学校との交流は、主に大学の「アメリカ研究夏期留学」のプログラムの一環として長く続いてきましたが、文部科学省の私立大学研究ブランディング事業(2016-2020年度)の財政的な支援を得たことにより、正式な国際交流協定を結ぶことができました。

2017年から本格的に交流が始まり、翌年7月にランカスター神学校のキャロル・リッチ(Carol Lytch)学長を仙台に招聘して、同月19日にランカスター神学校との国際協定を締結しました。2019年5月には同校のカルヴァン研究者ランドル・ザッカマン(Randall Zachman)教授を招いて講演会を開催しました。2018年と2019年には本学から調査と研究を目的として渡米しました。

その後、長引くコロナ禍にあって交流が途絶えがちでしたが、今年5月には、日本側の5回の講義と学生交流を含む国際セミナーをzoomによって開催し、再会と良い交流の時を得ました(次頁参照)。今後、2024年にはランカスター神学校の学生10数名が仙台を中心に日本で研修する計画が進んでいます。これからも感染症を予防しつつ、良い企画を立案し、両校の交流と発展を期待しています。

【ランカスター神学校と東北学院のつながり】

東北学院は、日本人伝道者の押川方義と、米国の宣教師 W.E. ホーイ、D.B. シュネーダーによって、1886年に創設されました。後者の二人は、アメリカのペンシルベニア州にある米国ドイツ改革派教会のランカスター神学校の卒業生です。それ以来、東北学院は米国ドイツ改革派教会とランカスター神学校から財政的な援助や施設の建築資金の寄付を受けて発展してきました。特に土樋キャンパスの本館やラーハウザー記念礼拝堂は米国からの多額の寄付によるものです。今後、受けるだけでなく、こちらからも米国に提供できるような取り組みも必要です。引き続き、本学の建学の精神のルーツを尋ね、良い交流を続けていきたいと願っています。



リッチ学長夫妻と東北学院・宮城学院関係者
(撮影 2018年7月19日)

【ランカスター神学校とのオンラインセミナー開催】

5月10～11日

ランカスター神学校国際セミナー
【Zoom ミーティング】



ランカスター神学校 東北学院

2022年 5月10日(火)～11日(水)

Session 1	5/10 (火) 9:00-11:30 [アメリカ東部時間: 5/9 (月) 20:00-22:30]
9:00-10:00	開会祈禱・挨拶・概要説明
10:00-10:40	講義「宣教師とTG最初の40年」 野村 信 (蘭教センターチャプレン)
10:40-11:20	講義「宮城女学校：プールボーの書簡を読む」 栗原 健 (宮城学院准教授)
Session 2	5/10 (火) 21:00-23:30 [アメリカ東部時間: 5/10 (月) 8:00-10:30]
21:00-22:10	講義「日本の神々：非超越のアニミズム感」 鐺木 道剛 (理事長特別補佐)
22:20-23:30	講義「マーサーズバーグ神学と東北」 藤野 雄大 (東北学院講師)
Session 3	5/11 (水) 9:00-11:30 [アメリカ東部時間: 5/10 (月) 20:00-22:30]
9:00-10:10	講義「日本におけるキリスト教会の一考察」 サム・マーチ (尚綱学院特任准教授)
10:20-11:30	東北学院大学生たちとの交流

問い合わせ先：東北学院宗教センター
TEL.022-264-6558

かねてからランカスター神学校では、学生たちの毎年恒例の短期間の研修を日本で実施したいと考えてきましたが、2017年に本学の鐺木道剛教授がランカスター神学校を訪問した際に、この企画が浮上しました。しかしコロナ禍で実現せずに時が経過しました。そこで遠隔会議システムを用いて両校で研修を行う企画が立案され、東北学院宗教センターの主催で今年の5月に実現しました。

土樋キャンパス、ホーイ記念会のリエゾンにて5月10日(火)の朝9時から、zoomを用い、会場のスクリーンに両会場を投影してセミナーを開催しました。大西晴樹センター所長の挨拶、続いて鐺木道剛理事長特別補佐の趣旨説明。

第1回目のセッションで、「宣教師とTG最初の40年」と題して野村信センターチャプレンが発表し、後半「宮城女学校：プールボーの書簡を読む」栗原健宮城学院女子大学准教授の発表がありました。米国からの参加者は学生13名と、教員2名、コーディネーターの1名であり、日本側からは、センター関係者の5名と教員1名、他校の1名が参加しました。

第2回目のセッションは、10日の夜9時30分から、「日本の偶像：日常の中の旧約以前の感受性」と題して鐺木特別補佐の発表、続いて「マーサーズバーグ神学と東北」と題して藤野雄大文学部講師の発表を行いました。

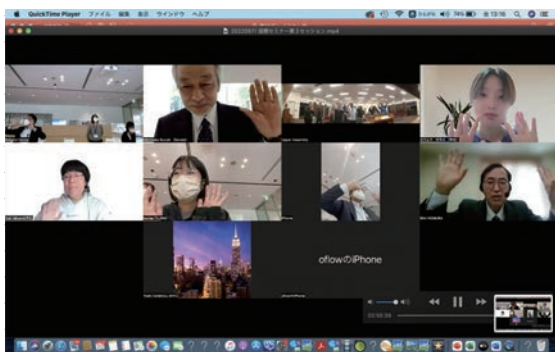
第3回目のセッションは、11日(水)朝9時から、「日本におけるキリスト教とは」と題して、サム・マーチ尚綱学院大学特任准教授の発表、続いて自由討議の実施。この討議には本学の学生たち5名が参加しました。

討議の中で特に話題となった点は、日本における女性の社会進出の遅れでした。米国側から、宣教における女性の働き的重要性と神の前での男女平等の意義が指摘されました。神秘主義についての議論も白熱しかけましたが、次回の討議に委ねることにしました。

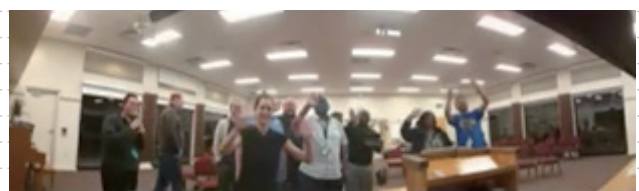
2日間のセミナーは、久しぶりに外国との交流となり、大変有意義な時間を過ごすことができ、来年も半日ほど交流を実施したいと考えています。



開会にあたってのAnne Thayer先生の挨拶



閉会時の挨拶：日本側



閉会時の挨拶：アメリカ側

所長 メッセージ

コロナ禍は3年目を迎えた。それに、2月に始まったロシア軍によるウクライナ侵攻も続いている。今夏は梅雨明けが早く、例年になく洪水や日照りに注意しなければならないほどの暑い夏を迎えた。コロナ禍に関しては、予断は許されないが、ワクチン接種により弱毒化の兆がみえ、設置各校の礼拝においても、人数や回数は制限されているとはいえ、対面礼拝が次第に戻りつつある。疫病、戦争、自然災害により多くの命が奪われていく世界にあって、生命の大切さ、希望を持つことの大切さを教える建学の精神を持つことは、人間の成長を促す教育にとって、大きな意義がある。園児・生徒・学生・教職員の心と身体の健康を祈りたい。



宗教センター所長(院長・学長)
大西 晴樹

秋冬の主な宗教行事

10月

宗教改革記念日礼拝

10月31日は「宗教改革記念日」です。1517年のこの日、マルティン・ルターはヴィッテンベルグ城教会の扉に『95か条の論題』を貼り出しました。これが宗教改革のきっかけになったことから、この日が記念日として制定されました。

榴ヶ岡高等学校 10月31日(月)
中学校・高等学校 10月31日(月)

11月

収穫感謝祭礼拝

豊かな恵みを神さまに感謝する感謝祭礼拝を守ります。

幼稚園 11月18日(金)



12月

クリスマス

泉キャンパスクリスマス(公開)
12月2日(金)

大学【泉・土樋】12月15日(木)

大学【多賀城】12月16日(金)

幼稚園 12月16日(金)

榴ヶ岡高校 12月23日(金)

中学校・高等学校 12月23日(金)



アドベント(待降節)



12月25日の約4週間前の日曜日からクリスマス・イブまでをアドベント(待降節)と言い、イエス・キリストの誕生を待ち望み準備する期間として過ごします。イルミネーションの点灯がアドベント期間の始まりを告げます。

【アドベント期間の行事】

クリスマスイルミネーション点灯式 11月25日(金)

幼稚園 クリスマス準備会(保護者向) 11月30日(水)

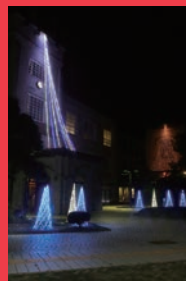
榴ヶ岡 クリスマス週間 12月19日(月)～12月22日(木)

中・高 クリスマス月間 11月28日(月)～12月23日(金)

クリスマスイルミネーション点灯式

☆

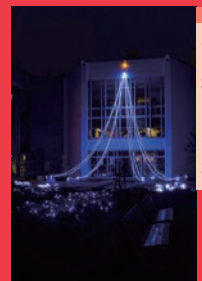
中高、榴ヶ岡高校、大学で行っています。礼拝後、イルミネーションの点灯を見守り、イルミネーションの光に主のご降誕を思います。各校での点灯式に是非参加してください。



大学土樋キャンパス



学院中・高



学院榴ヶ岡高校



LIFE LIGHT LOVE

「いのち ひかり あい」第4号

発行：東北学院宗教センター

編集責任者：宗教センター主任 原田 浩司

〒980-8511 仙台市青葉区土樋1-3-1

TEL: 022-264-6558

Email: c.center@mail.tohoku-gakuin.ac.jp